科目番号	0A00613
授業科目名（和文）	器械運動
授業科目名（英文）	Gymnastics
授業形態	実技
標準履修年次	0A00613(修士 1)、0A00616(修士 2)、0A00619(博士 1)、0A0061C(博士 2)、0A0061F(博士 3)
開設学期	秋 AB 定時　C 集中
曜時限	火曜日 5 時限+集中
教室	中央体育館体操競技場および体操場
単位数	1
担当教員	教員名：金谷 麻理子 所属：体育系 学務担当：人間総合科学学術院人間総合科学研究群 主実施組織：人間総合科学学術院人間総合科学研究群
TF・TA	TF：なし TA：あり
オフィスアワー等	オフィスアワー：随時 研究室： 電話番号： E-mail：kanaya.mariko.fp@u.tsukuba.ac.jp
教育目標との関連	修士レベル 知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力 博士レベル 知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力
授業の到達目標	器械運動における技の習得・習熟を目指した学修活動を通して、自身の身体の特性を把握し、コントロールできるようになると共に、運動実践によって生じる運動感覚を対象化して分析できるようになること、またその体験によって得られた経験に基づいて他者に共感できるようになること。
授業概要	体操競技およびトランポリンの専門的な設備を用いて、器械運動種目

	の「技」に挑戦する。「技」という非日常的運動の実施を通して、さまざまな運動感覚を体験するとともに、柔軟性や姿勢保持力、自体重を支える力など、自らの身体を操る力を身につける方法を学ぶ。
キーワード	運動の創発、運動観察、運動共感
授業計画	実践によって得られる経験が学修活動の要となるため、毎回、体調には十分配慮して授業に参加すること。 ①オリエンテーションおよび技能チェック ②ゆか運動：倒立回転系 ③ゆか運動：宙返り系 ④とび箱 ⑤あん馬 ⑥つり輪 ⑦段違い平行棒 ⑧平均台 ⑨鉄棒 ⑩器械運動種目の確認テスト（実技）とフィードバック ⑪トランポリンの導入 ⑫ストレートジャンプバリエーション：姿勢変化 ⑬ストレートジャンプバリエーション：ひねり系 ⑭膝落ちとその応用技 ⑮腰落ちとその応用技 ⑯腹落ちとその応用技 ⑰連続技 ⑱演技の習得 ⑲演技の習熟 ⑳トランポリンの確認テスト（実技）とフィードバック
履修条件	
成績評価方法	①評価方法：各回の活動状況および記録シート、確認テスト（実技）により評価を行う。 ②割合：技能 35%、知識・理解 35%、態度 30% ③評価基準：各回における運動課題の達成状況と記録シート、確認テスト（実技）の評価において 60%以上の得点を獲得すること。この場合、授業への積極的な参加を前提とする。また、各課題の達成状況および記録シートについては授業の中で随時解説・講評を行い、確認テスト（実技）については実施後および後日 manaba 等を活用して、解説・講評を行う。
教材・参考文献・配布資料	

授業外における学習方法	授業後に当該授業での学修内容を振り返り、その内容を記録シートに記録しておくこと。
その他	参加希望者は必ずオリエンテーションに参加すること。 Anyone who wants to take this course needs to attend the orientation. このコースは原則的に日本語を使用する。(英語で補足することは可能。) In principle, this course will be taught in Japanese. (English may be used as a supplement.) レポート等の作成に際して生成 AI を用いる場合には、「教育における生成 AI 活用のガイドライン（学生向け)」を参照し、適切に活用してください。 When using AI to write a report, follow the “(For students) Guidelines for the Utilization of Generative AI in Education” and use AI appropriately.
開講情報	オリエンテーション・授業日程（体育センターHP）
備考	・対面で実施 ・定員 20 名